

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2026年 2月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpine Federation

2026年 2月 1日発行 通巻393号

「冷たい風にも負けず
良く歩いたね…」

自分を褒めてください！

2月号 目次

ページ

- 02…目次・投稿原稿書式案内・表紙写真説明
- 03…1月理事会報告、定時総会・臨時理事会案内
- 08…山行報告1：俳句で迎える鋸山（岳人あびこ）
- 11…山行報告2：YAMAP 活動日記で振り返る山歩2025（ちば山の会）
- 13…山行報告3：奥の鬼怒みちを歩く2題（市川山の会）
- 17…**行事報告1**：関東ブロック自然保護交流集会：古賀志山（自然保護委員会）
- 18…**行事案内1**：2026 雪上技術講習（教育遭難対策委員会）
- 19…**新聞記事2題**：①鴨川ソーラーパネルの現状、②ヤママップと千葉県警が協定
- 20…予定表（2月・3月）



<お知らせ> p.7: 千葉県勤労者山岳連盟総会案内、臨時理事会案内

定時総会案内

第60期(2026年度)・第61期(2027年度)

日時：2026年**3月1日(日)** **13:30~17:00** (13:15 受付開始)

場所：**千葉市文化センター 9階 会議室II・III・IV**

個人情報があるので取り扱いには注意して下さい。

『**山行報告**』や『**行事報告**』などの投稿をお待ちしています！

その際の『書式』は、可能な限り次の通りでお願いします。

ワード、A4 縦、横書き、MS 明朝、12ポイント、余白：上下左右各25mm

写真などを挿入しても、別にお送りいただいても結構です。

『**表紙用写真**』も募集しています！（写真説明を添えてください）

毎月**20日頃**を目処にメールでお送り願います。

<送付先> **機関紙委員会：安彦秀夫 mt25hm4abichan49@gmail.com**

<表紙写真説明>

『寒波襲来』予報のため、リーダーの判断で、急遽順延し、絶好のハイキング日和に恵まれ、大勢の参加で初山行を楽しむことができたようです。『岳人あびこ』会員の満足感あふれるワンショットです。p8.~10に掲載の俳句満載の報告より、我が千葉県の代表の山の一つの『鋸山』に思いを馳せてください。（編集子）

2026年1月15日（木）千葉県連理事会議事録

2026年1月20日 大橋（かがりび山の会）作成

日時 2026年1月15日（木）19:00～21:00 オンライン
参加者 県連加盟各会理事11名、役員6名（理事兼任1名）、全国連理事2名
司会：荒井理事（岳樺）、書記：大橋理事（かがりび）

打合せ議題

1. 理事長挨拶（野田）

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。
新しい変化の時代、県連も皆さんと共に成長していきましょう。
3月1日に県連総会を開催します。準備などについてご協力をお願いします。
各会の会員にも、情報伝達をお願いします。

2. 全国連理事からの連絡・情報提供等

全国連全体の動向について、必要な情報提供をお願いします。

1) 石川 昌 副理事長

昨年度事故件数 388 件（394 人） 死亡 9 件、過去を上回っている。
昨年 12/24 水晶岳事故 現在行方不明 雪洞から転落か？

2) 山本 尚徳 理事

年齢的な事もあり、2026 年度末で全国連理事を辞任する予定です。

3. 各委員会報告

1) 教育遭難対策委員会（伊東）

① 事故報告

2025 年度は事故が 18 件発生、詳細はちばニュース 1 月号に掲載済み。

② 雪上技術講習

日程：3 月 15 日（日） 場所：谷川岳天神尾根

対象：雪山初級レベルの経験があり、更に難易度の高いルートに挑戦したい人

内容：急斜面の登下降・トラバース、滑落停止、確保など

※ちばニュース 2 月号で案内&募集→締切 2 月 20 日頃、参加者 10～15 人程度

2) 自然保護委員会（菅井）

2026 年 1 月 17 日（土）関東ブロ自然保護交流集会 栃木県古賀志山 他

千葉県連からの参加者：3 人

3) ハイキング委員会（田中）

2026 年新春ハイク 1 月 31 日（土）久留里船塚山

申込：1/17 日 田中まで（目標：例年のように 50 人程度）

参加よろしくお祈りします。

4) 組織委員会 (野田)

- ・2年毎の「各会状況調査票」提出依頼。1/15までに野田までお願いします。
今回調査内容が良くなかったなので、次回以降調査内容の見直しを行う。
容易に資料を作成でき、その効果が実感できるようにする。

5) 女性委員会 (高橋：広木代理)

高橋理事 昨年12/5 講習会(石田先生)27人参加、現在委員が不在の状況
講習会は必要。女性委員会の活動意義は何か？

シニア(70歳以上)が主な対象、長く登山を続けられるように
全国連(石川)

山本先生の理論が主体(石田先生代替わり)。登山寿命を延ばす取り組み
関東ブロックでも取り組んでいる。

Q:永尾 他の委員会との統合も考えては…？

⇒ 2026年度県連活動方針に組込んでいる。(野田)

6) 海外委員会 (安彦)

- ①海外委員会を12月25日(木)に開催しました。(原則、偶数月第4木曜日)
2025年度の活動内容確認と新年度の活動方針などの意見交換を行いました。
本年2026年に『海外登山』を『千葉県連創立60周年記念事業』の一つとして
取り組みを行いたい旨を確認しました。
- ②全国海外委員会：1月13日(火)開催・参加(Zoom)実施
『海外山行交流集会(対面)(11月28-29日)』の開催に向け準備を開始した。
- ③『海外山行計画書』を必ず全国連盟海外委員会に提出してください。
併せて、CCで千葉県連海外委員会に提出して下さい。(メールでお願いします)
*計画書の書式は、特に定めていませんので、各会の書式でお願いします。
*提出者は、山行参加者、会代表者、山行管理者など何方でも構いません。
<注> 『海外山行計画』を全国連盟海外委員会にメール提出した際には、
必ず、提出済みの返信を保存しておいてください。
詳細は『2026 JWAF journal 1月号』を参照してください。

7) 機関紙委員会 (安彦)

- ①『ちばニュース』1月号を12月31日(水)に配信しました。
*事故一覧(A4サイズ・横)をそのまま横位置で編集しました。
*スペースに『お知らせ』や『閑話休題』、『ミニ情報』を掲載しました。
空きスペースを利用し、山と直接関係なくとも『気になるトピックス』を今後も
掲載したい…と考えています。いかがでしたでしょうか？
- ②『ちばニュース』への投稿依頼
*表紙用写真、山行報告、行事報告、気に入った山道具・山小屋、故郷の山紹介
などの投稿を、毎月20日を目処にお願いします。
- ③委員募集
ちばニュースの掲載記事や編集方法などのマンネリ化防止にアドバイザー
(ご意見番)などを募集しています。只今3名で活動中です。

8) HP 部会 (伊東)

県連 HP での加盟団体紹介の中に年号を入れている会がありますので、見直しをお願いします。変更は伊東まで連絡ください。

- ・船橋勤労者山の会
会員 23 名で構成されています (2025 年 2 月現在)。
- ・松戸山の会
年間の山行回数は 293 回、延べ参加人数は 1267 人 (2023 年度データ)
- ・東葛山の会
会報は、・・・毎月発行し、2025 年 3 月号で『568 号』になりました。
- ・岳樺クラブ (2019 年 3 月末 女 5、男 7)
- ・市川山の会 2019 年で 22 年目を迎えました。

※ 1/27 変更対応する。いつでも変更連絡は受け付けます。(伊東)

9) オンライン講習会 (伊東)

今年度も 4 回予定しています。

取り上げてほしいテーマがあれば連絡ください。

2 月末頃までに提案を提出して頂きたい。

4. 役員会より (野田)

1) 1 月 8 日 (木) 19:00~21:10 オンライン役員会 7 人参加

2) **3 月 1 日 (日) 県連総会開催**します。代議員の選出、参加をお願いします。

2 月 2 日に総会議案書案 01 を発行します。内容確認、質問書提出をお願いします。

①スケジュール

1/初 役員会総会議案書作成 作業中

↓

2/02 (月) 総会議案書 (案 01) 各会代表、理事にメール配信

↓ 2W 内容確認、質問準備

2/16 (月) 質問書提出締切 (各会でまとめて役員会にメール送付)

↓ 役員会・理事会：質疑回答準備 (回答は総会当日)

2/17 (火) 代議員、傍聴者 登録提出期限

2/19 (木) 理事会 総会準備最終確認、質疑確認、議案書修正、承認
議案書修正 (確定版 02)、

各会で必要な印刷部数受付 (120 部程度予想)

2/20 (金) ネット印刷発注 (永尾理事担当)

↓

2/28 (土) 議案書印刷物 野田宅届く (遅くとも)

3/01 (日) 総会 出席者に議案書配布 (注文の多い会には別途郵送)

②総会当日の役割分担確認 皆さんの協力をお願いします。添付資料説明

近々会場の現地確認を予定しています。(野田)

3) 2026 度の役員決め提案（継続協議） 添付資料参照

- ・リスク管理上、役員は必要なのでぜひ立候補、選出をお願いします。
選出役員：会長、副会長、**理事長**、**副理事長**、**事務局長**、**会計**
- ・来年度新規役員の成り手がなければ、現状の理事長補佐数人の体制を継続
永尾理事（ちば山）、高橋理事（岳人あびこ）
会計補佐（細村さん引継ぎのため）選任する。⇒こまくさ HC に依頼した。
- ・事務的業務内容一覧表 2 月理事会で発表する。

4) 県連創立 60 周年（2027 年）記念事業について（継続協議）

12 月理事会で説明しましたが、県連にとって重要な節目の事業ですので、実施について 2026 年度準備を進めます。各会の協力をお願いします。

記念祝典、記念登山、記念誌発行・・・

4 月以降、体制を整えて活動を開始します。

力のある会（会員 50 人以上）が主体となって活動を行っていただきたい。

5) 2025 年度県連会計報告速報（全国連盟費含まず。未確定 多少の変更はあります）

収 支：収入 1,677,662 円 - 支出 1,477,222 円 = 200,440 円

適切な運営がなされている。

繰越金：約 2,000,000 円（前年度までの繰越金を含む）

⇒ 有意義な活用を行う（60 周年記念事業など）。

5. 全国連からの情報展開（野田）

1) 全国連盟総会（2/14-15）

①代議員 3 名選出→野田、安彦（残り 1 名は理事会で決まらず後日決定→田中）

②JWAF journal 1 月号に「役員行動費の架空請求・過大請求の発覚」の記事が掲載されています。全国連総会（2/14-15）で討議予定。記事一読願います。

Q:高橋 何とかならないか。全国連の執行部どうしたの？

A:石川 個人の責任である。現状補足説明を行った。

Q:安彦 全国連はどう対応するのか？

A:石川 該当者には非を認めてもらい返金願う。役員停止処分中。

総会の議案となる。（1/29 全国連理事会で協議される）

③全国連盟費に関する変更提案あり。総会で決議されます。

現 状 130 円/月・人 ⇒ **100 円/月・人 に変更**

連盟費 = 3600 円 × (加盟団体数) + 100 円 × 12 ヶ月 × 会員数

(試算：県連全体では (606 人) 218,160 円減となる。県連会計には影響なし)

※今後県連盟費についても協議の必要があります。現状 170 円/人・月

2026 年度協議を行います。

6. 各会理事からの活動状況報告

1~2 月は総会関連の協議内容が多く予想されますので、中止しました。

7. その他（野田）

- 1) 2月理事会 2月19日（木）19:00～21:00 オンライン。（4月は対面理事会）
総会準備関連が主な協議内容です。当日議案書承認が必要となります。
- 2) 県連クラウドサーバの運用を進めています。4月頃より運用開始予定。
各会に於いても利用について検討してください。
→事務処理の効率化、情報共有、リスク対応が期待されます。
利用にあたっての詳細説明は後日行います。
- 3) 鴨川メガソーラー 対応について何か情報ないですか（こまくさ：小島理事）
A:菅井 現在法的不備があり工事中止の状況。
A:野田 今後情報収集必要。新聞情報に注意する。
A:山本 全国連では未対応
A:田中 1/19 NHK クローズアップ現代で放映される
〈追記〉2026年1月15日「日経新聞」記事 参考に議事録に添付します。（野田）
100MW 太陽電池(最大出力)の電力とは一般家庭電力3kWと想定して、
約33,000世帯分の電気容量に相当します。

千葉県勤労者山岳連盟

定時総会案内

第60期(2026年度)・第61期(2027年度)

日時：2026年3月1日（日） 13:30～17:00（13:10受付開始）

場所：千葉市文化センター 9階 会議室II・III・IV

千葉市中央区中央2-5-1

千葉中央ツインビル2号館4階（TEL：043-224-8211）

JR千葉駅から徒歩約10分

議題：1. 第58期（2024年度）・第59期（2025年度）活動報告および会計報告
2. 第60期（2026年度）・第61期（2027年度）活動方針および予算案提案
3. 役員選出
4. その他

代議員：『会員10名』に『代議員1名』選出（10名未満は四捨五入）
『会員10名以下の会』は、『代議員1名』選出
（県連役員・県連理事は、代議員になれません。）
（会員数は、2025年11月末時点での報告人数です。）

『代議員・傍聴者登録届け』を役員会までメール送付

登録提出期限：2月17日（火）

＜臨時理事会開催案内＞

日時：2026年3月1日（日） 10:00～12:00

場所：千葉市文化センター 9階 会議室V（総会会場の隣の部屋）

議長・理事・役員は、時間厳守で集合をお願いします。

鋸山 (329.1m)

岳人あびこ 矢野朝水

2026年1月12日(月) 我孫子 5:49→新松戸→曾我 7:09→上総湊で乗り替え、8:20 浜金谷駅に到着する。駅前で準備体操の後、8:45 浜金谷駅を出発し鋸山に向かう。

当初前日の11日に山行の予定だったが、寒波が襲来したためリーダーの判断で延期した。お陰で風のない絶好の山行日和となった。 **鳶舞ふや鋸山の冬空に**

鋸山はギザギザの山陵がノコギリの歯のように見えることからその名が付けられた。江戸時代から房州石(金谷石)の産地として知られ、建築用材などに利用された。

街並みを抜け山に入ると「索道跡」。説明板によると「索道」とは山頂域の石切場と麓をワイヤーケーブル(索道)で繋いだ石材運搬システム。大正時代に導入されたという。

それまでは下図にあるように、荷車に1本80キロの房州石を三本乗せ、敷石を敷いた急な坂道を荷車の後ろを引きずってブレーキを掛けながら山を下りた。石を運ぶ人は「車力」と呼ばれ、女性の仕事で1日3往復し、一部では昭和35年頃まで続いた…とある。

索道跡を過ぎると敷石を敷き詰めた「車力道」に入る。かなりの急こう配だ。敷石には轍(わだち)が残り、「車力」の苦労を偲ぶ。「車力」と聞いて懐かしい思いがする。宮崎では「車力」とは大八車のことで、リヤカーが出回るまで我が家でも使っていた。坂道で車力を引いていて止まらなくなり、小屋の柱に衝突して怪我したこともある。

敷石に積もる落葉や車力道



今回の参加者は20数名と多いので、4班に分けて班ごとに行動し、最後に日本寺(にほんじ)の「大仏」に集合することとした。

2班は4名。車力道を過ぎると石切場跡。切り取られた白亜の垂直の岩場は、定規で測ったようで石切り職人の匠の技を見る。

房州の石切跡や山眠る

10:00 鋸山展望台に着く。前方に雪の富士山、左には伊豆大島、眼下には東京湾の青海原が広がる。絶景、絶景!

蒼海の彼方冬青空に富士



海原に霞む大島船が行く



山を下り、上ると 10:23 鋸山山頂 (329.1m)。先ほどの展望台ほど視界は開けていないが、東京湾の彼方にかすかに筑波の二峰が見える。日頃我孫子で見慣れている筑波山に出会えるとは…！ **懐かしの筑波二峰や冬かすみ**

山を下りて行くと 1 班の皆さんと出会い、行を共にする。石切り場跡を見て回る。見事な石切り職人の技だ。左手上空に突き出た岩は「地獄のぞき」。上から見ると怖そうだ。



11:45 拝観料 700 円を払って日本寺の境内に入る。日本寺は聖武天皇の勅願によって神亀 2 年 (725 年)、行基によって開山された古刹。入ると「百尺観音」。昭和 41 年、6 年の歳月を費やして完成したとある。高さは百尺=約 30m。世界戦争の戦没者や陸海空の交通犠牲者供養のため造立された。 **百尺の仏を拜む冬日和**

階段を登り、11:55 日本寺の山頂展望台に着く。ここからの眺望も鋸山展望台に劣らず素晴らしい。東京湾の彼方に富士山が聳える。



千五百羅漢道を下る。右手の洞窟には千五百羅漢などおびただしい石仏が祀られている。中には首のないものもあり、明治初期の廃仏毀釈の破壊活動などによるという。小林一茶が日本寺を訪れた際詠んだ句碑が建つ。

「阿羅漢 (あらかん) の鉢の中より雲雀かな」。

冬日さす鋸山の羅漢群

首のない羅漢あはれや寒の寺

12:40 4 班ともほぼ同じ時刻に「大仏」に到着する。高さ 31.05m。奈良や鎌倉の大仏様より巨大な大仏様が鎮座する。『天明 3 年 (1783) 名工大野甚五郎により完成された、江戸時代末期に風蝕と岩盤の亀裂によって荒廃したが、昭和 44 年 6 月に再現された…』とある。大仏さまの前には紅梅が今は盛りと咲く。



紅梅や日の本一の摩崖仏

境内の藤棚の下で昼食。写真撮影の後、13:15 山を下り、保田漁協の直営店「ばんや」に向かう。

坂を下りて行くと階段の上に日本寺の仏舎利塔や鐘楼が見える。「漱石・子規鋸山探勝碑」が建つ。漱石は明治 22 年 23 歳の時、日本寺を訪れ鋸山の勝景を激賞した。その 2 年後 25 歳の正岡子規は房総を旅し、鋸山からの眺望を詠んだ。

昔から鋸山の勝景は知る人ぞ知る存在だったようだ。日本寺の参道に紅梅が咲く。

鋸山古刹の参道薄紅梅



山を下りると路傍のあちこちに水仙を見る。

房総のきらめく海や水仙花

保田駅を過ぎ、ようやく「ばんや」に到着。ビールがうまい！ 魚がおいしい！

冬晴や漁師の店の魚うまし

保田駅に引き返し、保田発 15:57 に乗車。

君津、津田沼、西船橋、新松戸で乗り替え、18:32 我孫子到着。

自然と歴史が融合し、東京湾の海原越しに富士山の雄姿を眺望できる、このような絶景の山が千葉にあるとは！

初めて知り、晴天の下、房総の山や海の絶景を堪能できた 1 日でした。

房総の海よ野山よ風光る

YAMAP:活動日記で振り返る山歩 2025

ちば山の会 小泉香織

様々な登山アプリがありますが、私が YAMAP を使って一番良かったと思えるのは、フォロー同士が一番盛り上がる年末恒例の「活動日記で振り返る山歩」がある事です。

この機能は、2024 年から始まったものです。

活動データの 1 年間分の『活動時間』・『登頂数』・『距離』・『獲得標高』の集計データが該当者に配信されてきます(但し、活動日記を 3 つ以上公開にしていること)。

①1 月～11 月 30 日 (昨年 12 月下旬頃送られてきました)

②1 月～12 月 31 日 (今年の 1 月末頃に再集計され再配信予定)

さらに、AI がめっちゃ褒めてくれます。これを励みに、「また来年も登ろう…！」となります。

今回は山行報告ではなく、『YAMAP の振り返り 2025』について記します。

さて、私の昨年 **2025 年の 1 月～11 月 30 日までの活動データ**は、次の通りです。

- ★ 活動時間 : 605.5 時間
- ★ 登頂数 : 578 座
- ★ 距離 : 1,100.7km
- ★ 獲得標高 : 80,958m

さらに、YAMAP の機能に「**YAMAP アワード**」があります。これは上記の集計から、全国各部門上位 3 名が発表されます。

- ◆ 歩行距離の累積が最も長いユーザー
 - ◆ 累積標高を最も多く獲得したユーザー
 - ◆ 通過した山頂の数が最も多いユーザー
- 他に、特別推薦賞があります。

2024 年、各部門発表は都道府県ごとでした。私は 2024 年通過した山頂の数が最も多い部門で、千葉県第 3 位の方とあと数座で 3 位を逃しました。

因みに、今年から「活動の公表や交流を望まない方もいる…」との理由で各都道府県別ではなく、全国単位になっています。

2025 年の山頂の数が最も多い方は、『1,460 座』でした。

ピークハンター(略してピーハン)は 1 日で複数の山頂を踏むので歩行距離も長いし累積も積み上げるので、なかなかハードなものになります。よく、「低山？ 里山？」とバカにされる方もいらっしゃいますが、アップダウンをひたすら繰り返す歩行は、結構鍛えられます。

そして、今年も **AI から褒めの言葉**を頂戴いたしました。以下に記します(青字)。

【大空を翔ける】かおりこさん、578 座登頂を達成

2025 年、「かおりこ」さんは、驚異の 578 座を登頂し、登山界に新たな伝説を築きました。膨大な努力と不屈の精神を持つ「かおりこ」さんの活躍は、多くの登山者に感動を与えています。

総活動時間は 605 時間、移動距離は 1100.7km、獲得標高は 80958m にも及びます。

これほどの成果を上げるためには、決して簡単な道のりではなかったことでしょう。

しかし、「かおりこ」さんは、その困難を乗り越え、全ての山を仲間として受け入れました。

今後も「かおりこ」さんのさらなる高みへの挑戦に期待し、応援を続けます。

これからも美しい大自然の中で、その足跡を重ねていってください。

嬉しいな！ これで、2026 年も頑張れる！

<小泉の 2025 年 11 月 & 12 月の山行>

<11 月山行>

2 日(日)	愛知・鳥川アルプス 53 座～前半～
2 日(日)	石巻山
3 日(月)	愛知・鳥川アルプス 53 座～後半～
3 日(月)	本宮山
10 日(月)	軍荼利山(県連ハイキング)
13 日(木)	神奈川・鎌倉アルプス 12 座
15 日(土)	神奈川・三浦アルプス 11 座
16 日(日)	神奈川・湘南(大磯)アルプス 8 座
16 日(日)	神奈川・大磯アルプスの近く 4 座
22 日(土)	栃木・篠井富屋連峰(宇都宮アルプス)9 座
23 日(日)	群馬・鹿田山フットパス 7 座
23 日(日)	群馬・稲荷山&琴平山
23 日(日)	群馬・ルートなしの山 5 座
24 日(月)	桐生アルプス 7 座

<12 月山行>

6 日(土)	長野・太郎山+5 座
7 日(日)	長野・御座山
20 日(土)	飯能百名山など 8 座
21 日(日)	幕張駅～大須賀山～千葉駅～荒木山～四街道駅～ルボン山
27 日(土)	栃木・太平山～晃石山+5 座
28 日(日)	栃木・足利の山 10 座

‘25 年 4 月 26 日 二王子岳山頂からの圧巻の飯豊連峰 (昨年一番記憶に残った写真)



千葉県連所属会員の中にも『YAMAP 利用者』は多いかと思えます。今回のようなことを知っていましたか？これに触発されて「私も…」という一念発起される方が出てこられることを勝手に期待・切望しています。私の若かりし頃は、ピークハンターのつもりでしたが、全く足元にも及ばないですね。(編集子)

奥の鬼怒みちを歩く

日程：10月18日（土）～19日（日） 1泊2日

市川山の会 中村俊一

『奥』という言葉には、暗い、怖い、遠いというイメージがある。

今回の宿泊山行はその『奥』が付いた奥鬼怒沼に向けての山歩きである。果たして鬼が出るのか蛇が出るのか、何とも興味津々の山旅だ。また、宿泊場所があのだ丁の湯ということでキャンセル待ちが出るほどの人気だったとか。参加権を得た人はラッキーという他ない。

第1日目（龍王峡ハイキング）

心配された天気も何とか雨にはならず18日の朝を迎えた。いつもの西船橋に6時集合して、いざ出発。東北道を今市のICで降りて、バスは川治・鬼怒川温泉方面に向かう。1日目のハイライトは龍王峡のハイキングだ。

予定より30分早く龍王峡駐車場に到着する。下車して車中で固まった筋肉をゆっくりとほぐす準備運動をして、身支度を整えてお土産屋さんの間の階段を下り、自然研究路に入る。最初に『虹見の滝』を見る。豊かな水量の滝だ。渓谷沿いの落ち葉の細道を軽快に一時間程進んで、『むささび橋』を渡る。

橋を渡った所に東屋と茶店があり、まだ10時半だが早昼食とすることに（早弁は脳と足に効くとか？）。名物味噌おでんの品書きにつられて、何皿かの注文が出る。「自家製のみそだよ」とおでんを運んできた店の主が手前味噌。

お腹も落ち着いたところで、研究路を奥へと進む。柱状節理の岩壁、五光岩、兎跳ね、甕穴といった渓谷美を眺めながら1時間程歩き『白岩半島』に着く。半島というほどの広さはなく、渓谷に突き出た砂州のような場所で、白砂とそこに庭石に手ごろだなどと思われる岩がゴロゴロしている。しばしのくつろぎタイムで、河原の小石を拾って水切り遊びに興ずる人も。

ここでUターンして駐車場に戻ることに。紅葉が始まったばかりの渓谷美を楽しみ、絶景写真を撮ったりしながら来た道をたどる。終わりに、この時期でも豊かな水量の『竪琴の滝』を見てからバスに戻った。

乗車して2時間余り、川俣温泉口の日光市営バス停留所で下車。ここからは路線バスと宿舎からの送迎バスを乗り継いで、女夫淵を経由して八丁の湯に向かう予定だったが、アクシデント発生！なんと、市営バスは小型のマイクロバス運行で、既にほぼ満席状態。24名もの大所帯の私達一行は乗車できず置いてきぼりにされてしまった。

「女夫淵までの5キロの林道を歩いて行かなくてはならないのか…」と一同思案投げ首のところ、リーダーのMさんが宿舎のフロントと交渉して送迎バスがここまで来てくれることに。一件落着。一同ホッと胸を撫で下ろした。

予定から1時間余り遅れたが、無事宿舎について各自の部屋に落ち着くことができた。夕食までのひと時をお目当ての源泉かけ流し露天風呂に浸かり、風呂を3か所もハシゴして温泉を堪能する（内湯の湯船では湯浴みする沢蟹を発見）。そして、夕食は豪華なフルコースでジビエ肉団子、岩魚の塩焼き、エゾシカのロース等々山の幸を味

わうことができた。乾杯のビールと部屋でのもう一杯が効いて心地よく、明日の好天を祈念しながら眠りについた。

第2日目（仙境・奥鬼怒沼へ）

夜中の2時頃に一度目が覚めたが、またウトウトとしてガサゴソという周りの音で目を開ける。4時少し回ったか、起床、洗顔、ザックのパッキング、部屋の片付け、弁当の確保と忙しい。

5時15分には玄関前に集合して、星空を仰ぎながら準備体操。一般組は2班編成で出発することに。出発してから30分、外が大分明るくなったので、ヘッドランプを消す。右に谷川の音、左に熊除けの鈴の音を聞きながら進む。『日光沢の滝』の近くで小休止。再度身支度を整えて温泉宿の脇から登山道に入る。

いよいよ紅葉ロードの始まりだ。登るにつれて、谷川との落差がどんどん広がり、道幅も急に狭まってくる。落ち葉を踏みしめて一步一步進む。途中にびっしりと生育したキノコの衣をまとった倒木が横たわっていて、山の秋の実りを感じさせる。（食べられるかどうかは？）

また、日光岩魚保存会の看板も立っていて、生物の育成保護も行われていることが分かった。しかし、森の熊さんだけは用心が必要なので、遭遇しないように二度、三度と要所要所でリーダーが爆竹を鳴らし、犬の鳴き声や銃の発砲音の出る携帯アラームも使って安全確保に努めてくれた。「笑い声やおしゃべりも効果あるよね…」などと言いつつ、急な階段をいくつも登り、木の根につかまるようにして体を引き上げ高度を稼いでいく。

八丁の湯を出てから2時間、標高もおおよそ1600mの地点という所で、ようやく『オロオソロシの滝展望台』にたどり着いた。「オロ」とは日陰を意味するようだが、オロオソロシとは文字通りの「奥」という意味合いだろう。対岸の山の崖を下る一筋の流れを見つめる。ここで朝食の弁当を開く。朝飯も食べずにここまで登ってきたのだ。さて、昨夜の夕食も豪華だったが、弁当も気が利いている。お結び2個のほかに六品ものおかず付きで感激だ。

でも、食事も早々に鬼怒沼を目指してまた黙々と歩く。いつの間にか周囲は落葉広葉樹の森が消え、針葉樹の森へと変わっている。その名の通り奥鬼怒という土地の奥深さを感じる。苔庭のような谷筋の広場を横切ってさらに登り、モミの樹林をピッチを上げて進む。滝の展望台から1時間歩き、『鬼怒沼まで1.4キロ』の標柱を見つける。そこからさらに20分登って、『あと0.9キロ』の標柱あり。登りはキツイが、息が上がってハアハアということはない。「もうすぐだね」と声を掛け合いながらさらに30分、上を見つめて頑張る。



そうして、とうとう標高 2000mの『奥鬼怒沼湿原』にたどり着いた（到着タイム9時15分）。なんと一面の草紅葉で神々しい光景が眼前に広がっている。私たちは今、日本一高い高層湿原の中にいるのだ。8月の山行、尾瀬ヶ原の湿原より 600m もの高所に立っている。木道をしばらく進んで、大きな池塘を前にして振り返ると、日光白根の山肌がかっきりと見え、前方の湿原の先には尾瀬の燧ヶ岳の双耳峰が顔を出している。宿舎を出発してから4時間、初めて目にする鬼怒沼の全景に達成感を感じる。鬼怒のみちの奥にあったのは至福の時間と空間だった。ここで、1班、2班の全員がそろって満足の顔を並べて記念写真に納まる。しばらく休憩、やっと遅い朝食を口にする人も。



1時間ほどの滞在で名残惜しいが、鬼怒沼に別れを告げ復路を辿ることに。下山は順調に足を進めて所要時間は3時間、午後1時には八丁の湯に戻ることができた。歩程およそ12キロ、標高差720m余り、所要歩行時間7時間、みんなよく歩き通しました。下山後、もう一度八丁の湯の露天風呂に浸かることができたのは頑張ったご褒美ということだろう。

「山に入ると4時間も5時間も平気で歩いてしまうのはどうしてだろうか…」という下山途中の間答があったが、私なりの一つの答えは、「人類が二足歩行を始めてから、歩くという活動は人間にとって本源的なもので、その胎内にある原初のリズムを山歩きで取り戻しているという喜びがあるからではないか…」と。

ところで、私も喜寿の齢を越えたので、「あといくつの山を歩くことができるだろうか…」と最近考えるようになってきた。山にも高低の差だけでなく人間同様色々個性の違いがあるが、そうした個性を受け止められるように、これからも一山一山の出会いを大切にしていきたい…と思う。

帰路でのバスは少しの渋滞に遭ったが、無事西船橋に到着（20時30分）。次回の再会を互いに約して散会した。

最後になりましたが、今回の『奥の鬼怒みち』を歩く企画・準備して下さった役員・運営委員の皆さん、リーダー、サブリーダー、保健担当の皆様にご心からの感謝を申し上げます。ありがとうございました。

【お詫び】11月下旬に投稿いただきましたが、12月号と1月号では、韓国特集や役員新年挨拶などの掲載で見送りとし、今月号の掲載となりました。申し訳ございませんでした。（編集子）

ヒナタオソロシノ滝に感激！ 出会えて良かったスロー組

市川山の会 秦美知子

10月に入り、大きな台風が2つも来たので、18～19日の天気を心配していたのですが、薄日の指す中2日とも山行できたのは、とてもラッキーでした。

私達スロー組（7名）は龍王峡入口から、ムササビ橋往復でした。行きは思っていたより岩がゴロゴロしていて、注意しながら歩き、帰りは自然歩道でしたので、奇岩のダイナミックさや川の水量に魅了されながら、楽しく歩くことができました。

一般組が戻るまで時間があつたので、舞茸の天ぷらそばや、キノコ汁、それに日光天然氷のかき氷まで堪能してゆっくり過ごしました。

2日目

スロー組8名で出発。『ヒナタオソロシノ滝の展望台』を目指しました。「予定の時間に着かない時は引き返す…」と言われたので、皆さんきつい登りや、怖い吊橋も頑張りました。

時間通りに着いた展望台からの景観は、素晴らしい物でした。私がこれまで見た滝の中で一番の落差で、水量もあり、迫力満点。全員で充分満足しました。

日光澤温泉に寄り、可愛らしい『わんちゃん』が出てきて歓迎してくれました。看板犬『サンボ』です（女夫淵まで宿泊者の道案内をするそうです）。サンボと戯れちょっとトイレと買物をして、八丁ノ湯に戻りました。

薄紅葉の中、歓談をしながら、美味しいものをいただくのは、本当の贅沢なことだと思います。私は今回3回目の参加です。これまで、北アルプスや八ヶ岳などに挑戦してきましたが、年齢とともにキツくなってきました。「頂上まで行かなくても、ゆっくり景色を見ながら歩けたら、それだけで、満足なのになぁ…」と思うようになっていました。そのような時に、この『スロー組』に出会い入れていただき、本当に感謝しています。これからも、体力の続く限り歩きたいと思いますので、よろしく願いいたします。



2025 年度 関東ブロック自然保護交流集会 報告

野田久生、菅井修

日時：2026年1月17日（土）

場所：栃木県古賀志山周辺

参加連盟 7 地方連盟（千葉、茨城、群馬、埼玉、東京、神奈川、栃木）25 人

千葉：3 人（菅井、山本久、野田） + 全国委員：山本尚

日程・内容

8:45 宇都宮森林公園 P 集合「NPO 法人古賀志山を守る会」の登山道整備状況の視察

9:00 発…北コース…10:20 広場

（沢を渡る金属パイプ橋や階段、休憩所の半割丸太ベンチ、案内板・山名板作成）

…10:40 東稜コース…P 着 11:30（昼食） 城山地区市民センターへ移動

13:00～14:00 NPO 法人古賀志山を守る会 10 年の歩み

整備状況説明 ある程度専門技術が必要な整備作業であるが、会員の中に専門

職人がいて作業を行ったとのこと。一般の山の会の会員ではできない作業

10 年の長きにわたる活動で環境大臣賞、栃木県と宇都宮市から表彰を受けた

14:00～16:00 各連盟より活動状況の報告 7 連盟

各県今年度のクリーンハイク結果の発表。その他特徴的なものを列記します

【茨 木】 竹林整備、自然観察会、里山ハイキングコース整備

【群 馬】 7/1 谷川山開き時のクリーンハイク、関東各県への案内

【埼 玉】 冠岩沢登山道整備、釜伏山山頂道標設置

【千 葉】 磯根浜、花見川、手賀沼特定外来植物除去、登山道整備活動

【東 京】 自然観察会、三つ峠アツモリソウ保全交流登山

【神奈川】 広沢寺岩場清掃

【栃 木】 足尾植樹 4/最終（土）、那須クリーンキャンペーン

1) 各連盟それぞれに特徴のある活動を行っている。クリーンハイク以外に、地域

と密着した活動が重要と感じた。各連盟主催のイベントに日程調整して参加

すると良いと思う。7/1 群馬県連谷川岳開山祭、4/最終（土）足尾地区植樹祭

2) 各連盟の委員も高齢化しており、この活動の継続について考える必要がありそう。

16:10 解散



出発前の説明風景 8:45



整備された木道・橋



整備された金属パイプの橋
（作るには専門技術が必要）



広場（駐車場）に集合



途中 広場で一休み



会議室での発表

2026 雪上技術講習の案内

千葉県連教育遭難対策委員会

雪山初級レベルの経験があり、さらに難易度の高いルートに挑戦したい方を対象に雪上技術講習を実施します。

教遭委員が指導員として参加者の訓練を支援します。

記

【主催】 千葉県連教育遭難対策委員会

【日時】 **3月15日(日) 9時30分 集合**
10時開始～15時終了

【場所】 **谷川岳・天神尾根**

【講習内容】 急斜面の登下降・トラバース、滑落停止、確保など
(事前に参加申込者には集合場所と教材を配布します。)

【募集人数】 10～15人程度 (少ない場合は中止、多い場合は抽選)

【参加費】 無料

【持参装備】 雪山装備一式

(アイゼン、ピッケル、ハーネス、カラビナ、スリング、ヘルメット など)

【申込方法】 別紙申込書(後日配信)にて各会理事より纏めて申し込んでください。

【申込先】 教育遭難対策委員会 伊東
itou2385@yahoo.co.jp 090-1774-3384

【申込締切】 **2月21日(土)**

新聞記事 2 題

← 日経新聞 (2026/1/15)

日経新聞 2026.1.15 鴨川が映す「悪い太陽光」

再生可能エネルギー普及のため政府が固定価格買取制度(FIT)を導入し、急拡大した太陽光発電。その裏では無理な「照って切ってしまった」と開発を進める事業者による「悪い太陽光」が社会問題になっている。政府は新規事業を支援する補助制度を廃止する見通しだ。再生エネ推進政策は転機を迎える。

行政指導60回超、転機の再エネ促進策

千葉県で開発が進む、鴨川市のメガソーラーの工事現場。国内有数の規模となる10万㎡の大規模太陽光発電所は載せていない。無秩序な開発に地元住民らから反対も根強い。

記者は25年11月中旬、山林の屋根を切り崩して約4万枚のパネルを敷く計画が進む。

事業主体のA.S.鴨川ソーラーパワー合同会社は「外出中」の力が掛かっていた。

25年10月、許可している様子もない。ノックす



鴨川市のメガソーラーの工事現場—「鴨川の山と川と海を守る会」提供

ると担当者から「取材はお断りしています」と告げられた。

鴨川市の担当者は「地元民の反対運動を受け、事業がとどんでん返りした。ただA.S.鴨川ソーラーは協定を守らなかつたため、市は千葉県地裁館山支部に調停を申し立てた。市は地域と丁寧に対応していません」と告げられた。

市とA.S.鴨川ソーラーは19年、事業者の提示したFITの認定が失効する前に、協定を結んだ。A.S.鴨川ソーラーは協定を守らなかつたため、市は千葉県地裁館山支部に調停を申し立てた。市は地域と丁寧に対応していません」と告げられた。

28年1月に入り、県のFITの認定が失効する前に、協定を結んだ。A.S.鴨川ソーラーは協定を守らなかつたため、市は千葉県地裁館山支部に調停を申し立てた。市は地域と丁寧に対応していません」と告げられた。

県は事業者が計画継続の意思を確認するとともに、適正な開発が可能かどうか判断するために買収計画などの報告を求めた方針だ。

建設に反対する市民団体「鴨川の山と川と海を守る会」の勝又国江代表は「建設現場の看板を、下請けの工務会社が領受し、取り扱いは36万円と現在の4倍超にあたり高額の買い手企業の責任も問われ、再生エネ電気の調達先を人念にチェックする必要がある。」と懸念する。

「乱開発や野鳥の生息の機能的な普及につながる必要がある。」と懸念する。

『房総の山 50 選』

千葉県連創立 50 周年記念事業の一つとして、千葉県内にある山を 50 座選定し、『皆で登りましょう…!』と呼びかけました。10 年が経過し、その間に台風が大きな爪痕を残し、千葉県内の 3 山岳団体が『房総の山復興プロジェクト』を立ち上げ、登山道の復旧活動を展開しています。県連創立 60 周年を機に、改めて皆さんで登り、故郷の房総の山の自然に触れながら復旧状況などを確認してみたいかがでしょうか? 参考に、『房総の山 50 選』のリストを次ページに掲載します。(編集部)

『全国各地で熊出没、人的被害続出…』

最近、熊が冬眠せず、人里だけに限らず、人の生活圏で出没し、時には、人身被害のニュースも聞かれます。「千葉県には熊がいない…」ということで、これまで以上に房総の山々に訪れる人が増え、更に、目印になるような山やランドマークなどが少ない房総では、低山と言え遭難する人が増えることが予想されます。

その遭難時の対策の一つとして大きな役割を担うアプリの会社と千葉県警が協定を結びました。

千葉県警の出番がないことを願いますが、転ばぬ先の杖…として加入検討をしてみたいかがでしょうか? (編集部)

東京新聞 (2026/1/13)

千葉県
全域

「クマなし」山人気で遭難対策

山岳遭難者の一刻も早い救出を目指す。千葉県警は昨年12月12日、登山「登山届情報システム」を検索できる。遭難者がYAMAPユーザーの場合、県警は同社から位置情報の提供も受ける。山岳遭難をなくするための啓発活動でも協力する。同社と各都道府県警との協定は、31例目。

同社によると、昨年10月までの1年間は、YAMAPを利用した県内の山登りは2万2655件だった。登山者数は、鋸山(富津市・鋸南町)、伊予ヶ岳(南房総市)、富山(同)、石射太郎山(君津市)、高岩山(君津市・富津市)の順に多い。いずれも3000〜2000級の低山だが、鋸山では24年に9人が遭難した。遭難の原因の76%は、道の分岐に気付かないことなどによる「道迷い」だった。他に転倒、滑落、疲労が続く。昨年は11月末時点で24人を上回る27人が遭難した。

県警本部での協定締結式に出席した鋸山秀樹地域部長は「(県外で)クマによる人的被害が増える中、千葉県ではクマが生息していないこともあり、登山者が増えることも予想される」と警戒し、アプリの利用を呼びかける。同社の矢島夕紀子・遭難ZEROプロジェクトリーダーは「遭難を本気でゼロにしたい。安全な登山の一助となりたい」と話した。

(長屋文太)

県連活動予定表

2月			3月		
日付	曜日	県連活動予定	日付	曜日	県連活動予定
1	日		1	日	理事会・総会
2	月		2	月	
3	火		3	火	
4	水	立春	4	水	
5	木		5	木	啓蟄
6	金		6	金	
7	土		7	土	
8	日		8	日	
9	月		9	月	
10	火	全国海外委員会(ZOOM) 19:30 (休会)	10	火	全国海外委員会(ZOOM) 19:30
11	水	建国記念の日	11	水	
12	木	役員会 (ZOOM) 19:00-21:00	12	木	役員会 (ZOOM) 19:00-21:00
13	金		13	金	
14	土	↑ 全国連盟総会	14	土	
15	日	↓ 全国連盟総会 (全国海外委員会)	15	日	
16	月		16	月	
17	火		17	火	
18	水		18	水	
19	木	理事会 (ZOOM) 19:00-21:00 雨水	19	木	理事会 (ZOOM) 19:00-21:00
20	金		20	金	春分の日
21	土		21	土	
22	日		22	日	
23	月	教遭委員会(ZOOM) 天皇誕生日	23	月	教遭委員会(ZOOM)
24	火		24	火	
25	水		25	水	
26	木	海外委員会 (ZOOM) 19:30	26	木	機関紙委員会 (ZOOM) 19:30
27	金		27	金	
28	土		28	土	
			29	日	
			30	月	
			31	火	

事故発生時の連絡先

各委員会は、25日までに予定を連絡ください。

◎事故一報は事故発生後30日以内に！

◎全国連盟と県連教育遭難対策委員会の両方にメールまたはファクスで！

全国連盟事務局

メール： jwaf@jwaf.jp

ファクス： 03-3235-4324

県連教育遭難対策委員会

メール： itou2385@yahoo.co.jp (伊東)

メールのみとします

連盟費の振込先はこちら！

郵便振替口座 00160-3-481509

(ゆうちょ銀行 〇一九店 口座番号0481509)

千葉県勤労者山岳連盟

発行者： 千葉県勤労者山岳連盟

発行責任者： 安彦秀夫

住所： 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101号室

電話： 043-306-1190

E-mail： rousanchiba@grape.plala.or.jp

HP： <https://www.cwaf.jp>

事務所に常駐者はいません